

主催：NPO法人/国連NGO 子どもの権利条約総合研究所北海道事務所
共催：名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター
協力：札幌市子どもの権利条例市民会議(略称 こどけん)

第7回
子どもの権利
研究会

北海道における 子どもにやさしいまちづくり の推進

～子どものSOSを受けとめる
地域・学校・家庭の役割と課題～

士別市の牧野勇司市長は「子育て日本一」のまちづくりを公約の一つに掲げ、「士別市子どもの権利に関する条例」を2013年に制定し、「子ども議会」や「子ども夢トーク」などによる子ども参加のまちづくりを実行してきました。また、「子どもの権利救済委員会」も設置し、弁護士・元家庭相談員・元教育委員を配置して子ども虐待やいじめにも対応してきました。2015年から2019年にかけては、「士別市子ども子育て支援事業計画」も実施しており、すべての家庭が安心して子育てできる喜びを感じられるために、幼児期の教育・保育、地域の子ども子育て支援を総合的に推進しています。

第Ⅰ部では、「子どもにやさしいまちづくりの推進に向けて」をテーマに、士別市の取り組みおよび全国の歩みを振り返り、その役割と課題を検証していきます。

また、第Ⅱ部では、「子どものSOSをどのように受けとめるか」と題して、子どもの権利侵害をどのように相談救済に結びつけ、安心できる解決を導き出せるかを共に考えていきたいと思えます。学校ではいじめ、不登校、発達のアンバランスをもつ子どもへの支援等が課題となっており、家庭では子ども虐待の事例が多く見られます。子どもの相談・救済機関に関わっている専門家や相談員の報告や発言をもとに子どものSOSを受けとめる地域・学校・家庭の役割と課題を学校関係者や自治体職員、一般の市民とともに語り合いたいと思えます。

日時

2018年9月7日[金] 13:30~17:00

開催地

北海道 士別市「生涯学習情報センター いぶき」
士別市西1条8丁目701番地1 TEL:0165-29-2153

第Ⅰ部

対談
「子どもにやさしいまちづくりの推進に向けて」

牧野 勇司 士別市長
荒牧 重人 子どもの権利条約総合研究所代表(山梨学院大学教授)

第Ⅱ部

子どもたちのSOSをどのように受けとめるか

コーディネーター 子どもの権利条約総合研究所北海道事務所長 松倉 聡史(名寄市立大学教授)

- 報告者
- 「子どもの現実や気持ちに寄り添う相談と解決」
せたがやホッと子どもサポート委員 半田 勝久(日本体育大学准教授)
 - 「子どものSOSを受けとめる」
士別市子どもの権利救済委員 野中 英樹(弁護士)
 - 「居場所のない子どもたちに安心の場を」
札幌市NPO法人 子どもシェルターレラピリカ事務局 平野 美里(弁護士)
 - 特別発言 民間の相談機関 旭川市「きらきら星」代表 村岡 篤子



参加費
無料
当日参加も歓迎
直接会場へ
おいでください

お申込み・お問い合わせ先

子どもの権利条約総合研究所北海道事務所長 松倉 聡史
TEL: 01654-2-4194 内線1307 研究室直通: 01654-2-4199-1307
E-mail matukura@nayoro.ac.jp

